

主な内容

1 2 3 総合計画基本構想の骨子案

4 市民参加
パブリックコメント

伊勢原の未来を見据えて

令和5年度から始まる新しい総合計画基本構想の骨子案がまとまりました

策定にあたり、パブリックコメントを実施します



総合計画は、長期的な展望に立つて本市の目指す将来像を描き、その実現に向けて総合的かつ計画的に行政運営を推進するための指針となります。

今後、本格的な人口減少が予測される中、本市の持つ強みや特性を生かしながら、将来にわたって市民の暮らしやすさを維持・向上させ、さらに発展できるまちづくりを目指すため、令和5年度からスタートする(仮称)伊勢原市第6次総合計画を策定します。
 担経営企画課 画94-4845

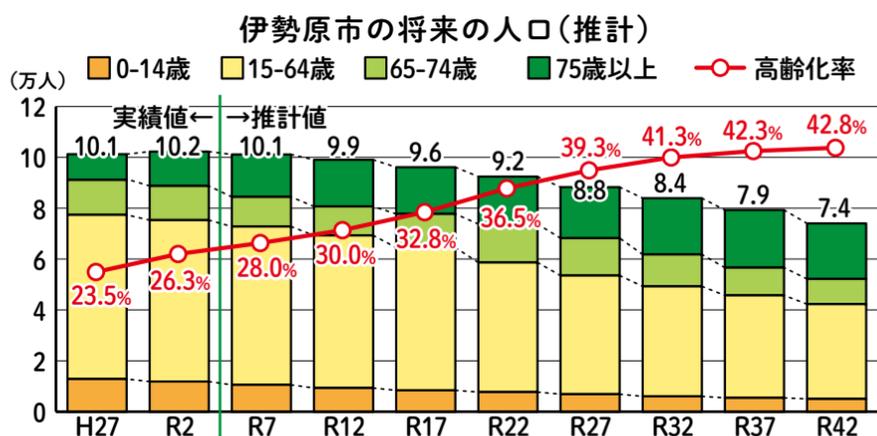
基本構想の骨子案

人口の将来展望

まちづくりの重要な要素の一つである人口について、市全体で共有し、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを進めるため、今後10年間の人口の将来展望を掲げます。

本市の人口は平成30(2018)年をピークに減少局面に入りつつあり、令和42(2060)年には約7万3900人となると推計されています。このため、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるためには、人口減少にブレーキをかけ、バランスのとれた人口構造にしていくことが必要です。

新しい総合計画では、多くの人が暮らしやすく、住み続けたいと思えるまちづくりを進めることで、人口の減少幅を可能な限り小さくしていきます。



基本理念

まちづくりを進める上での基本的な考え方を掲げます。

安全・安心な暮らしを守ります

災害や脅威に強く、誰もが日々の暮らしに安全・安心を実感できるまちづくりとともに、カーボンニュートラルを念頭に、環境負荷が少ないまちづくりを進めます。

多様なパートナーとの連携を進めます

市民や地域をはじめ、企業や大学、各種団体などの多様な主体と連携・協力しながら、地域課題の解決に取り組むまちづくりを進めます。

強みを生かしまちの成長を促します

豊かな自然や歴史文化、広域的な交通アクセスの優位性など、地域資源やまちの特性を生かし、活気とにぎわいにあふれた魅力あるまちづくりを進めます。

時代にふさわしい行財政運営を進めます

将来にわたる健全で安定した行財政基盤を構築するとともに、スマート技術の活用を促進し、市民の暮らしの質と利便性を高めるまちづくりを進めます。